東洋硝器 株式会社

安全を供給するプラスチック容器の総合メーカー

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応

プラスチック容器の製品群

業務内容

大阪と関東の工場で生産する容器は医薬品などに使う

PET樹脂やポリエチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂などのボトルやキャップを高槻市の本社工場や茨城県下妻市にある関東工場の２工場で生産している。医薬品容器や香料、化粧品、食品容器の総合メーカーとして地位を確立し、供給範囲は北海道から九州に至るまで全国展開している。創業から32年間で多くの製薬メーカーなどと取引の実績を積み重ねてきた。「安心・安全・安定供給」を使命とする「品質保証・３Ａ宣言」を掲げ、ボトルに入れる中身をしっかり守れる安全な材料で、安心して使える製品を送り出すことで社会貢献している。

強み

ボトルやキャップは一貫生産、顧客の声も素早く反映

ボトルやキャップは製品開発から納品まで一貫して実施している強みがある。一貫生産できることで顧客の声をいち早く製品化につなげられ、新製品の情報漏えいも回避できる。試作から小ロット対応、量産も対応できる。手がけている医薬品容器は内容液を侵さない安全な原料選定から設計、デザインなどの開発、特許取得、製造、品質管理などで幅広く独自のノウハウを培っている。原料メーカーともつながりを有しているため、新しい樹脂の開発につながっている。実用新案を取得した製品も数多くある。

開発力

廃棄時を考慮したつぶせるプラスチック容器を開発

安全で熱に強い樹脂を開発し、高圧蒸気滅菌用の容器を製品化している。割れにくく変形を起こさない特殊な樹脂を用いたプラスチック容器や、廃棄する時を考慮したつぶせるプラスチック容器も手がけるなど、開発や製造に関する技術を数多く有している。最近では衛生面での対策の高まりを受け、福祉施設など向けに、消毒液を足で踏み込んで使うディスペンサーも開発している。電池や電気が不要となるため、場所を選ばずに使用できる利点がある。一方でディスペンサーはセンサーで手を感知する自動タイプも投入している。

足で踏んで使う消毒液用のディスペンサー

今後の展望

高品質を維持して開発力も向上、人材育成も強化

医薬品メーカーとのつながりがあるため、病院の声が多く入ってくる。その中に廃棄処理の問題があり、軽量型の減容容器が多く出回っている。使用後につぶせるが、廃棄スペースがかさばる。こうした事態にならないように、使用者が簡単につぶせてコンパクトに廃棄処理できる「つぶして重ねられるボトル」を開発課題として掲げている。江口博臣社長は「高品質を維持しながら、開発力を高めたいと考えている」と力を込める。人材育成も重点的に取り組んでいる。社員全員が年１回、役員の前で自らをプレゼンテーションできる機会を設けている。

COMPANY PROFILE　東洋硝器株式会社

大阪 26

当社の歴史

医療用容器を中心とした販売会社として昭和57年に創業しました。平成2年にプラスチック製容器メーカーとなり、医薬品、香料、化粧品などのメーカーから信頼をいただいています。原料メーカーなどの支援を受け、素材の研究開発や各種容器試験法に基づくデータ作成といった安全性を裏付ける追求を最優先にしています。これからも安全を提供し続けていきたいと考えています。

要望を形にできる、お客さまに近い容器メーカーとして安全を提供し続けます。

代表取締役 **江口 博臣**さん

■主な事業内容
プラスチック製医薬品容器などの製造・販売

■主な取引先（納入先）
製薬、工業薬品、試薬、食品（香料）、化粧品メーカーなど

住　所／〒569-0823
高槻市芝生町1-55-2
ＴＥＬ／072-678-6881
ＦＡＸ／072-678-6886
創　業／昭和57年9月
設　立／昭和61年7月
資本金／2,700万円
従業員／50名

http://www.t-shouki.com